

北上市総合計画 2021～2030 令和4年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和3年度）

基本方針	2.未来を創る人づくり
基本施策	2-1.変化する社会を生き抜く「知・徳・体」の育成
関連するプロジェクト	2.学びの改革プロジェクト

国籍、心身の状態、家庭環境等を問わず、すべての児童生徒の「知・徳・体」を育てるため、豊かな自然、伝統ある郷土文化等、地域の様々な資源を活かし、教育機関との連携強化を図りながら、充実した学校教育を展開します。また、学校給食による食育を推進し、子どもたちが積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質や能力を身に付け、生涯を通じて健康・安全な生活を送る基礎を培います。

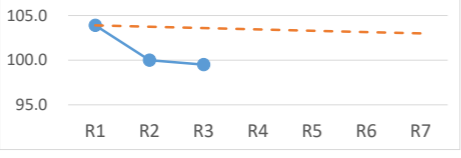
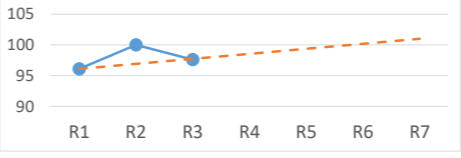
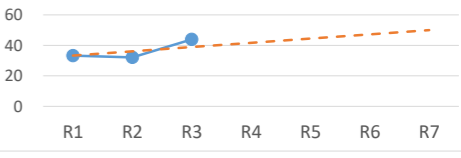
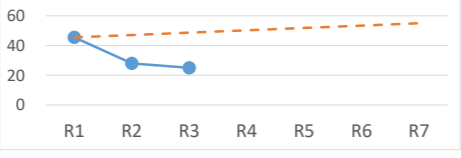
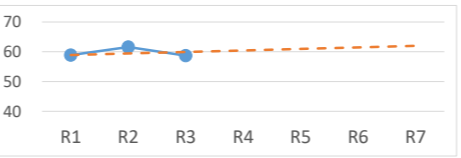
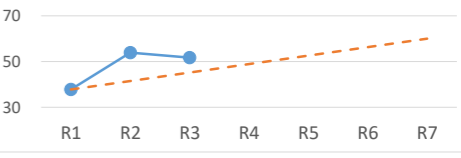
評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	<b>B</b>
------	----------

R4事後	<b>3</b>
------	----------

No.	担当部署	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R3) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R4に着手予定・着手済み ◆:R5以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	教育部	●	確かな学力と情報活用能力の育成 新しい学習指導要領に基づき、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組み、言語能力の育成・外国語教育・プログラミング教育・理数教育等の充実を図る。また、児童生徒一人に1台タブレット端末の整備を進めることで、情報を整理・比較・発信・伝達したり、共有したりする情報活用能力の向上を図る。	①②	総合学力調査の結果からは、小学校では全国とほぼ同等の平均正答率であったが、期待値からは-4.1ポイントであった。中学校では、全国からは-2.4ポイントの開きがあったが、期待値に迫る結果であった。 児童生徒に一人一台端末の整備が完了し、授業での活用のほか、家庭への持ち帰りによる活用を進めることができた。	B	小中学校ともに、新しい学習指導要領の改訂に基づき、身に付けさせたい資質・能力を明らかにしながら授業改善が進められてきている。 活用に向け、スタート研修等教員対象の研修を実施することができた。毎月の運用定例会を実施することで、活用状況を把握し、個別の対応を行うことができた。	総合学力調査に限らず、全国学調や県学調において獲得した知識を活用する問題や、他者の考えをもとに自分の考えを再構築するなど、より生きて働く学力を問う問題構成となってきた。 運用にかかわる各学校で発生したトラブルに対し、NTTドコモのサポートセンターが迅速な対応を行った。	◇各種学力調査結果をもとに、目指すべき資質・能力を明らかにした教師の授業改善を推進する。また、児童生徒のつまづきに対して、具体的支援策を講じていく。評価問題の工夫により、学力の定着状況を把握し、より生きて働く学力の定着を目指す。 ◇端末の更なる活用推進に向け、先生方のニーズを捉えた研修の実施や運用定例会を継続実施する。
2	教育部	●	不登校児童生徒への対応 不登校児童生徒の個々の状況を把握した上で、不登校児童生徒やその保護者の心情に寄り添い、丁寧且つ適切な学習支援及び相談に取り組む。	③④	小学校では、前年度から長期欠席児童の改善率が大きく向上した。中学校では、R2年度と同等の水準となり、期待値からは下回る結果となっている。 不登校の児童生徒数及び不登校率は、令和2年度と比べ増加している。	B	小学校・中学校ともに、学校不応答を起こす児童生徒に対し、早期発見、組織的な対応を行っているが、不応答にかかわる個々の要因が複雑化しており、具体的な解決に至らないケースが多い。 個々に様々な要因があり、教員の取り組みだけでは、解決が困難である。	家庭環境に起因すると思われるケースが少なくないが、スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置が十分でないため、学校と福祉分野や医療分野等が全ての事業で連携に至っていない。	◇学校においては、早期発見、組織的な対応を継続実施する。 ◇学びのサポートセンターないろやスクールカウンセラー、その他関係機関の利用も視野に入れながらケース会議を実施する。 ◇教育相談員を活用し、個別の保護者対応や学校サポートを行う。 ◇スクールソーシャルワーカーの増員を県教委に要請する。難しい場合は、市独自の増員を検討する。
3	教育部	●	グローバルな人材の育成 外国語を学ぶ機会、科学に触れる機会の充実を図り、児童生徒における英語力と科学力の向上に取り組む。	⑤	英検補助対象受検者数における合格者の割合は、R1年度実績値、R3年度期待値を下回る結果であった。 イングリッシュ・キャンプ(中学生対象)、イングリッシュ・ワールド(新規:小学生対象)、ステップアップ英語講座、オンライン英会話講座を実施した。小学生4～6年生を対象とした科学実験教室では、定員数を上回る申し込みがあった。	B	・小学校外国語や中学校英語を担当する教員に対して、北上市英語力向上推進アクションプランについて、周知が不十分だった。 ・ステップアップ英語講座を集合型から、オンライン型にしたことも要因の一つと考えられる。 ・オンラインを活用するなど、新型コロナウイルス感染症を考慮しながら、事業内容を見直し、工夫・改善できた。 ・一人一台端末の整備により、事業の実施手段が広がった。		◇北上市英語力推進アクションプランの周知を図る。 ◇指標を英検補助対象者の合格者に変更したうえで、小学校外国語及び中学校英語の授業改善や教育研究所英語力向上部会による指導法の研究推進を図るとともに、英語検定補助事業、ステップアップ英語講座の継続実施によりCEFR A1レベルの英語力を身に付けた生徒の育成を目指す。 ◇R3年度に実施した各事業を内容を見直しながら継続実施し、外国語や科学に触れる機会を創出する。
4	教育部		食に関する自己管理能力の育成 食生活による肥満等への指導や、栄養教諭等が具体的に授業に参画することにより、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進する。	⑥	食に関する指導の実施率は51.7%であり、小中学校全263学級中136学級で栄養教職員が参加して食の指導を実施した。令和2年度よりも2.2ポイント減少したが、期待値を上回っている。	B	・給食提供業務との兼ね合いで、各センターで対象学年を決めて学校へ希望をとって実施している。 ・数値としては、令和2年度よりも減少した結果となったが、各学校の希望に沿った日程調整を行い、コロナウィルス感染拡大防止のため日程変更等はあっても、ほぼ年度当初に予定したとおり指導を行っている。		◇引き続き、学校と連携しながら、継続して実施する。

凡例 ●実績値 ○期待値

指標	指標の説明	実績値	期待値
指標 ①	総合学力調査における平均正答率の全国比〔2教科(国・算)小学4年〕 2教科の学力検査の正答率の平均値		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
教育部	%	実績値 103.9	100 100
		期待値 ※R7は目標値 103.9	103.8 103.6 103.5 103.3 103.2 103.0
		備考	
指標 ②	総合学力調査における平均正答率の全国比〔5教科(国・数・社・理・英)中学1年〕 5教科の学力検査の正答率の平均値		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
教育部	%	実績値 96.10	100 97.6
		期待値 ※R7は目標値 96.1	96.917 97.733 98.55 99.367 100.18 101
		備考	
指標 ③	長期欠席児童の改善率(小学校) 不登校児童に対して、指導の結果、学校やなないろ等に登校、通所できるようになった児童の割合。		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
教育部	%	実績値 33.3	32.1 43.9
		期待値 ※R7は目標値 33.3	36.1 38.9 41.7 44.4 47.2 50
		備考	
指標 ④	長期欠席生徒の改善率(中学校) 不登校生徒に対して、指導の結果、学校やなないろ等に登校、通所できるようになった生徒の割合。		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
教育部	%	実績値 45.5	28 25
		期待値 ※R7は目標値 45.5	47.1 48.7 50.3 51.8 53.4 55
		備考	
指標 ⑤	英検補助対象受検者数における合格者の割合 級を問わず、英検補助対象の英検を受検した生徒のうち合格した生徒の割合		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
教育部	%	実績値 58.9	61.6 58.7
		期待値 ※R7は目標値 58.9	59.417 59.933 60.45 60.967 61.483 62
		備考	
指標 ⑥	食に関する指導の実施率(クラス数単位) 小中学校の全クラス数に対して、栄養教職員が参加して食に関する指導を実施したクラスの割合		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
教育部	%	実績値 37.8	53.9 51.7
		期待値 ※R7は目標値 37.8	41.5 45.2 48.9 52.6 56.3 60
		備考	
指標 ⑦	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	
指標 ⑧	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	
指標 ⑨	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	
指標 ⑩	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	
指標 ⑪	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	
指標 ⑫	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	
指標 ⑬	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	
指標 ⑭	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	
指標 ⑮	指標の説明		
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2 R3 R4 R5 R6 R7
		実績値	
		期待値 ※R7は目標値	
		備考	